

共生環境学科・環境情報システム学教育コース カリキュラムマップ

2021年度以降の入学生向け

学部ディプロマポリシーとコース学習教育目標との関係

- | | |
|--|-----------------------|
| (1) 幅広い教養と倫理観、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を有している。 | ← A, B |
| (2) 生命、環境、食料、健康等に関する生物資源学の基本的な知識と技術、経験を有している。 | ← B, E |
| (3) 科学的で論理的な思考を展開することができ、計画的に問題の解決に取り組むことができる。 | ← A, E, F, G, H |
| (4) 豊かなコミュニケーション能力を持ち、他者と協力して行動することができる。 | ← C, D |
| (5) 社会の変化に柔軟かつ自律的に対応し、発展的に生きていくことができる。 | ← B, D, E, F, G, H, I |

環境情報システム学教育コース学習教育目標

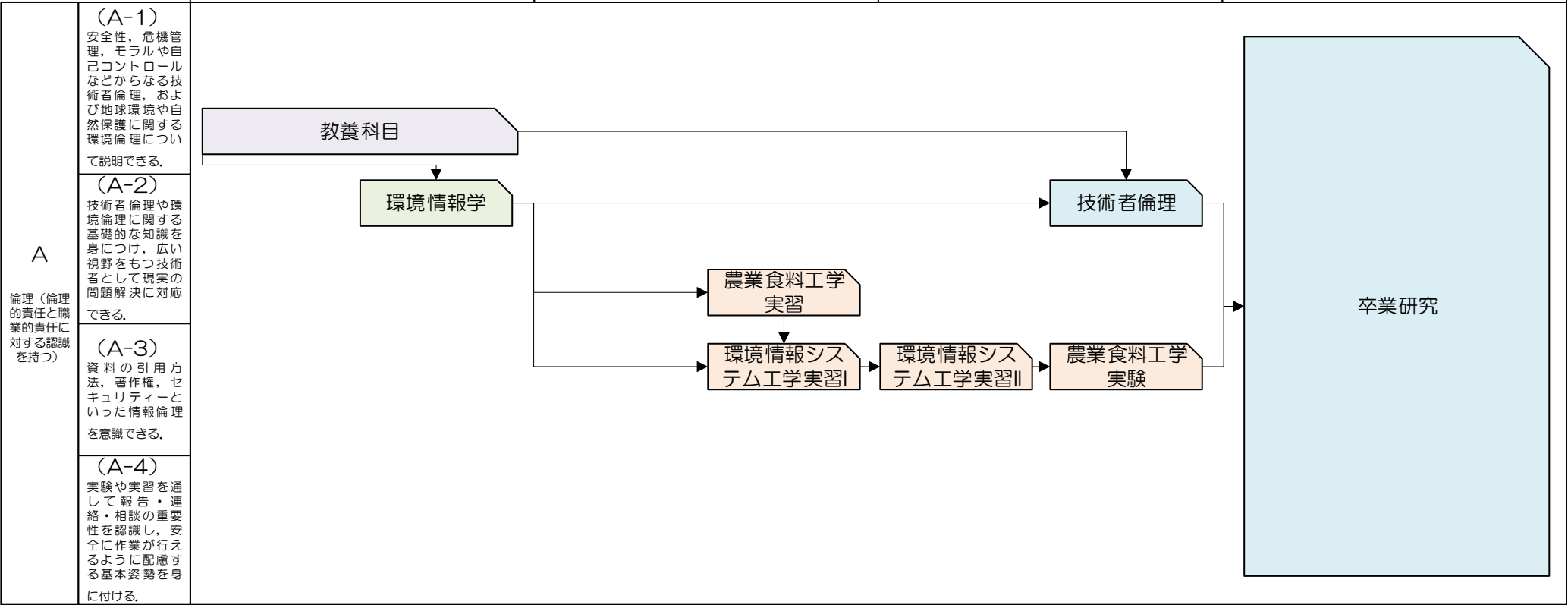
- A 倫理（倫理的責任と職業的責任に対する認識を持つ）
- B 諸問題の認識とグローバルな視点
- C チーム活動
- D コミュニケーション
- E 環境・情報・システム工学に関する専門知識
- F 問題解決能力
- G データ読解力
- H 実験計画
- I 問題設定・デザイン力

教養科目 学部必修 学科必修 コース必修 選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年 2年 3年 4年



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

4年

(B-1)
地球規模の環境問題に関する基礎知識を持ち合わせ、概要を説明できる。

(B-2)
関連する専門分野の諸問題について、その背景を踏まえながら、客観的に検討することができる。

(B-3)
問題を解決する方策が、社会や環境に影響を及ぼす可能性があることを認識している。

(B-4)
様々な現場や領域に飛び込み、経験することにより、自分の価値観に束縛されず、複数の視点から物事を冷静に判断できる。

(B-5)
設定された問題を複数の視点から検討するために、国内外を問わずインターネットを使って情報を検索し、問題の本質を認識しようとする姿勢が身に付いている。

(B-6)
ベンチャーの起業家としての資質を学ぶ。起業するに当たっての必要事項を理解する。起業に必要な特許取得、特許調査及び特許活用について学ぶ。

B

諸問題の認識とグローバルな視点

教養科目

生物資源学総論

フィールドサイエンス体験演習

共生環境フィールドサイエンスセミナー

将来気候予測論

地球環境学概論

環境保全生態学

生物圏循環学

環境情報学

農業食料工学実習

環境情報システム工学実習I

環境情報システム工学実習II

農業食料工学実験

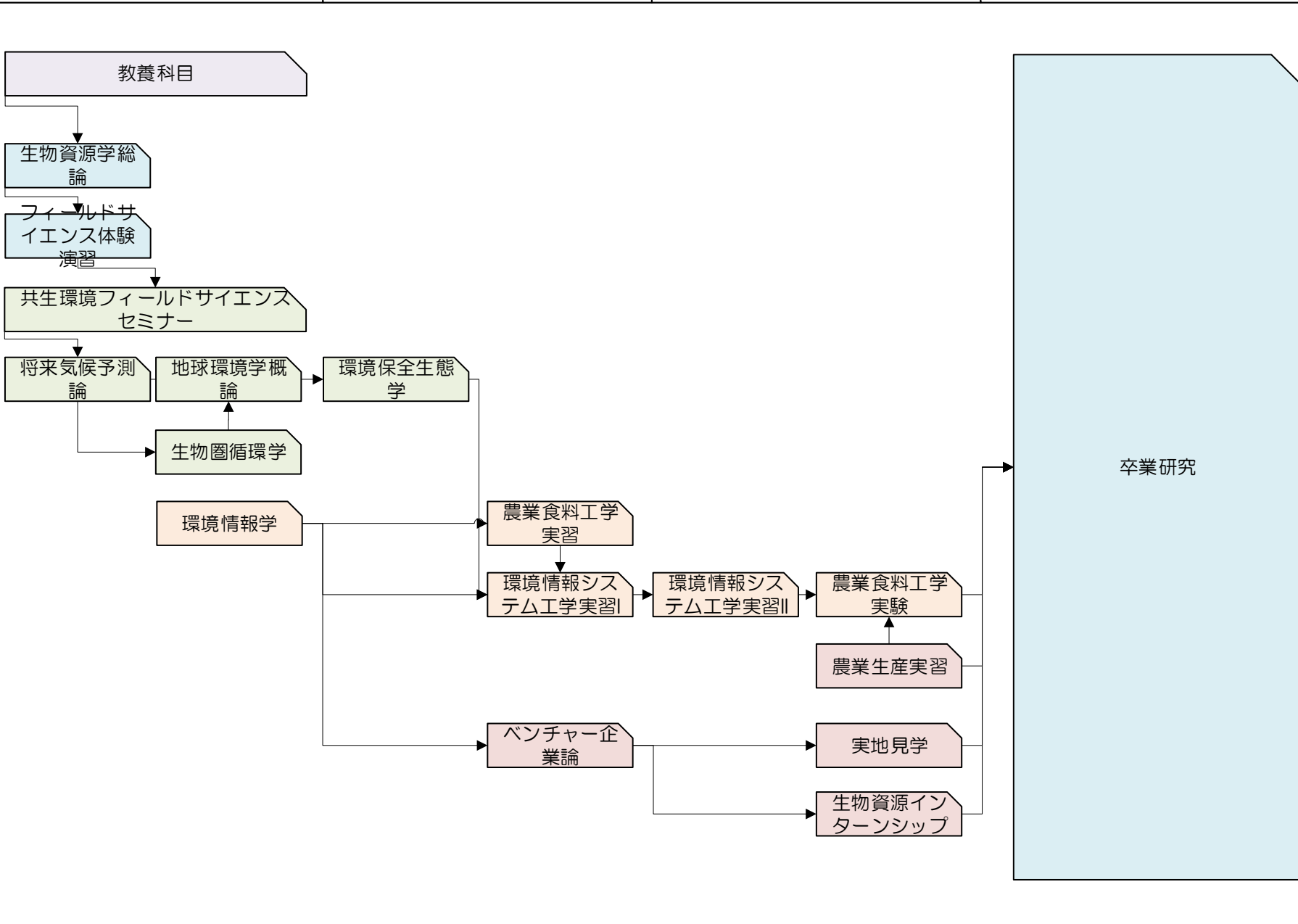
農業生産実習

ベンチャー企業論

実地見学

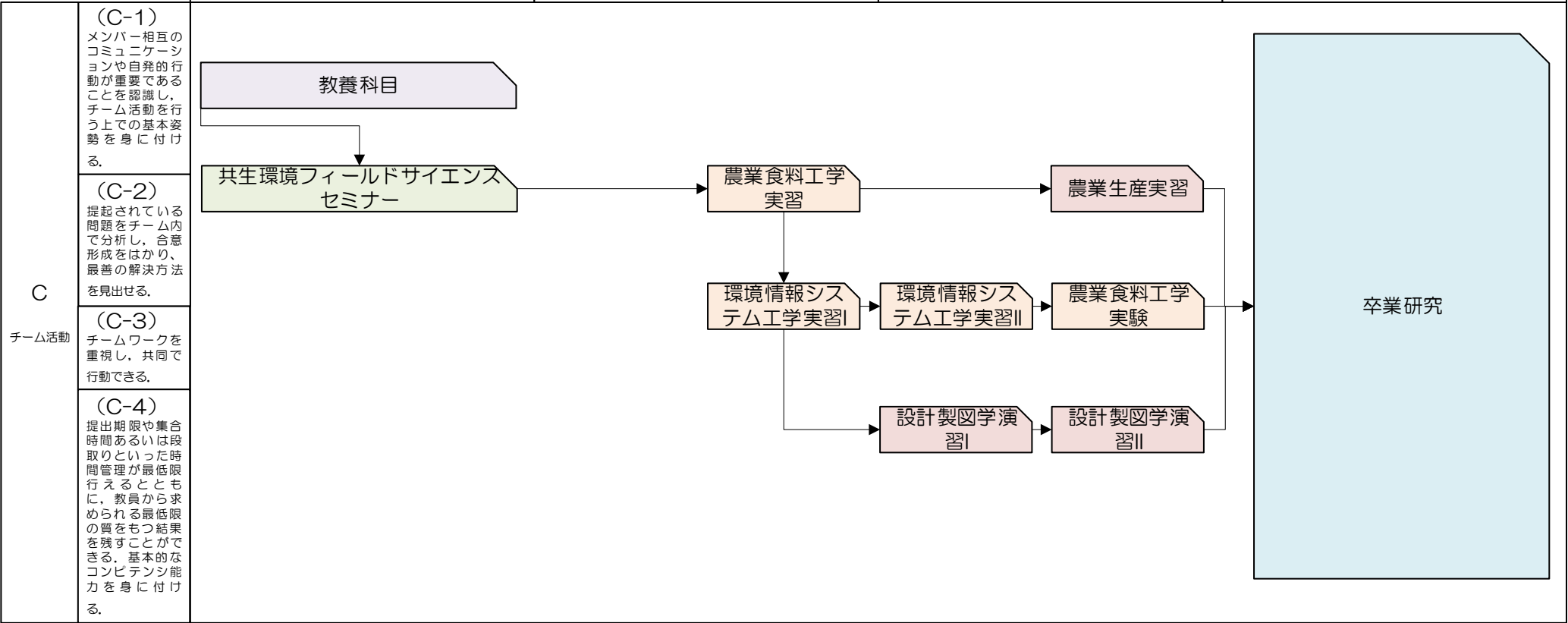
生物資源インターンシップ

卒業研究



環境情報システム学
教育コース

1年	2年	3年	4年
----	----	----	----



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

4年

(D-1)

読み手や聞き手の要求に見合った情報を構成および設計することを意識し、数値、図表を用いてわかりやすく説明する基本姿勢を身に付ける。

(D-2)

漢字や句読点、文法に注意を払いながら、指定された段落構成、図表や文献の挿入および引用規則を守って文章を作成できる。

(D-3)

ノートならびにペンを用意するなど、常に聞く姿勢あるいは質問する姿勢をとることができる。

(D-4)

論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力を身に付け、論文や講演により研究成果などを適切に伝えることができる。

(D-5)

社会人としてのコミュニケーション能力の基礎を身につけている。

(D-6)

インターネット上のエチケットやマナーを意識しながら情報をやりとりできる。

(D-7)

専門分野において、外国語を用いてコミュニケーションができる。

D

コミュニケーション

教養科目

共生環境フィールドサイエンス
セミナー

農業食料工学
実習

環境情報シス
テム工学実習I

環境情報シス
テム工学実習II

農業食料工学
実験

農業生産実習

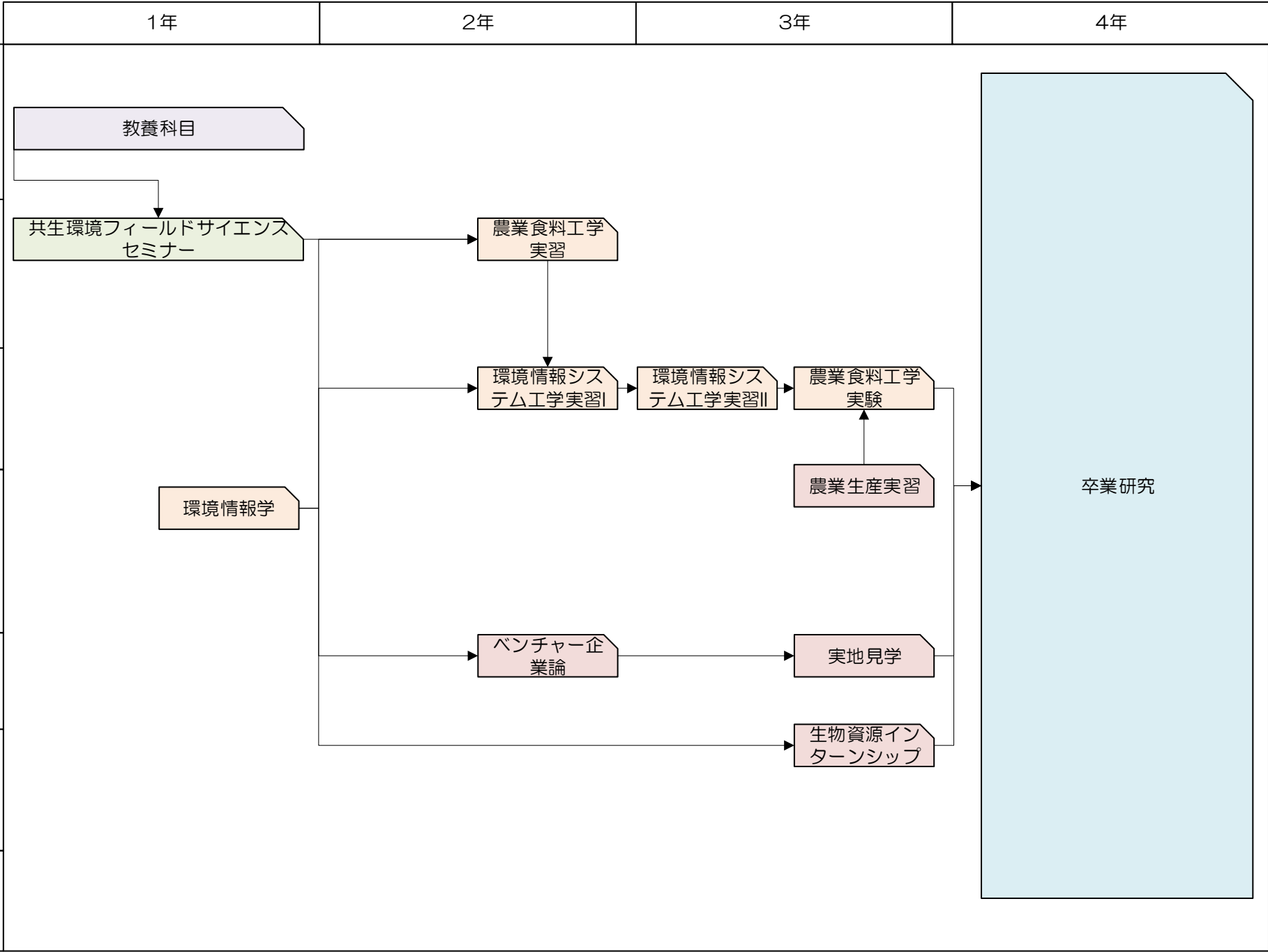
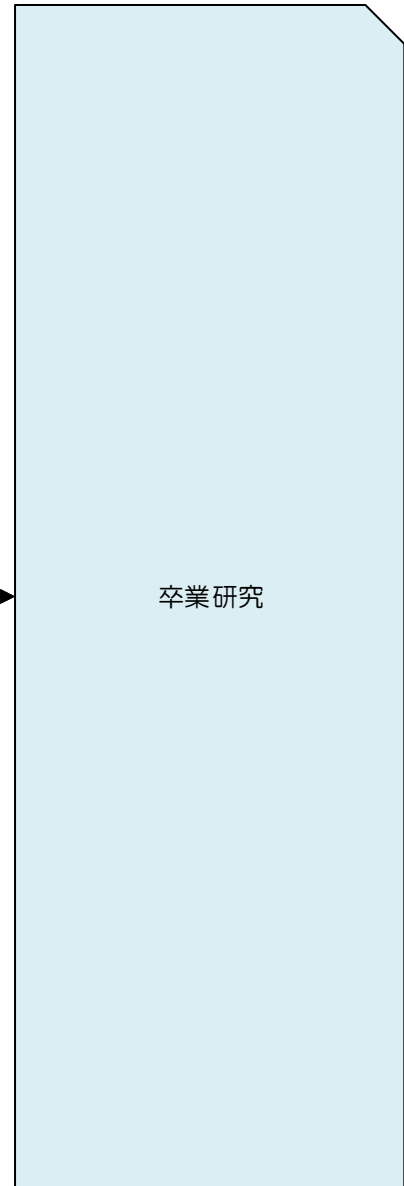
環境情報学

ベンチャー企
業論

実地見学

生物資源イン
ターンシップ

卒業研究



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

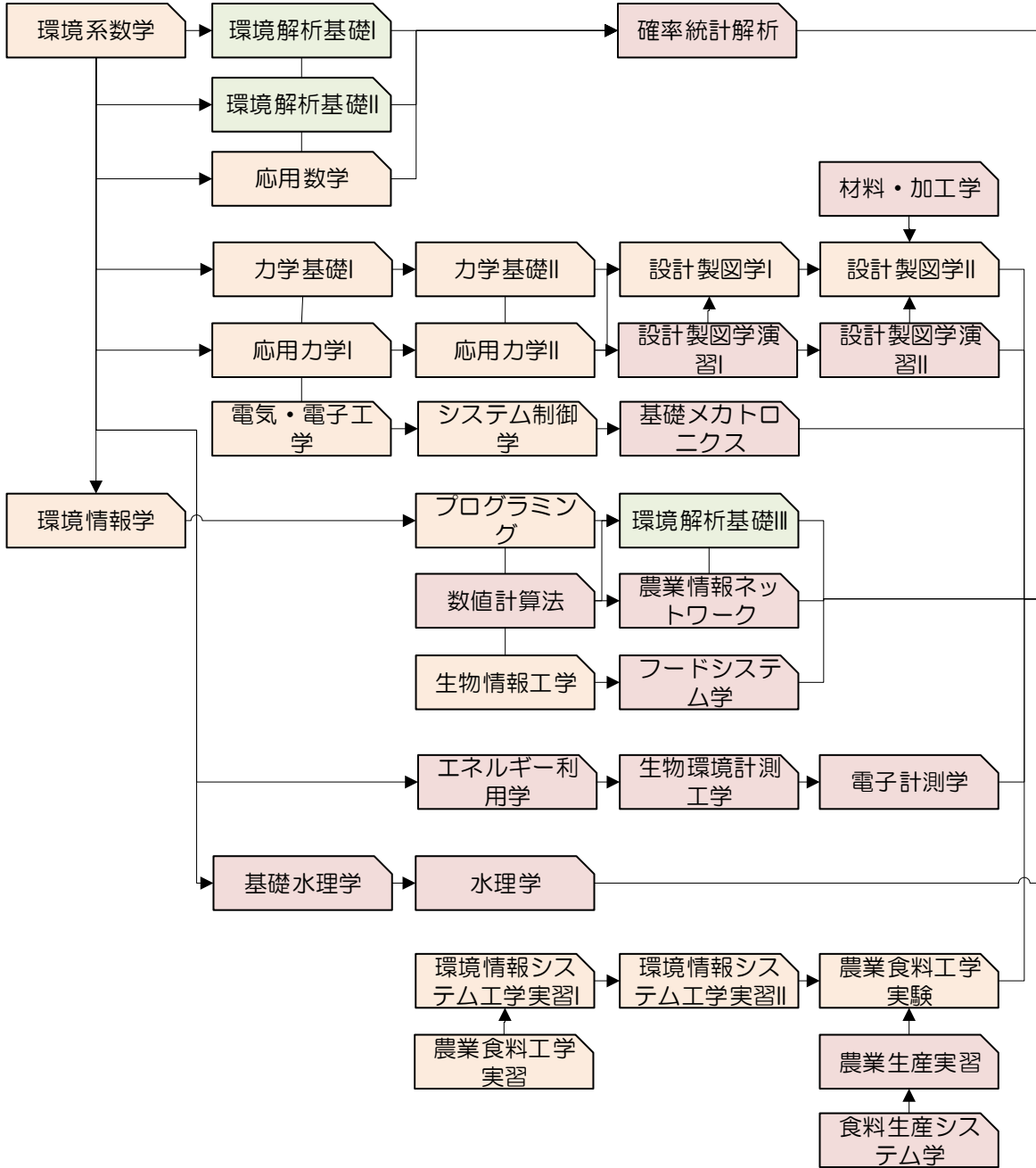
4年

- (E-1) 環境・情報・システム工学に関連する幅広い専門知識を有する。
- (E-2) 機械力学および材料力学の基礎を有する。
- (E-3) 微分方程式、線形代数といった数学の基礎を有する。
- (E-4) 熱力学の基礎を有する。
- (E-5) 流体力学の基礎を有する。
- (E-6) 電気電子、電磁気の基礎を有する。
- (E-7) エネルギー利用に関する基礎を有する。
- (E-8) プログラミングのスキルを有する。
- (E-9) 統計解析の基礎を有する。
- (E-10) 数値計算の基礎を有する。
- (E-11) 論文、レポート作成するための作文スキルを有する。
- (E-12) 論文、レポート作成するための情報リテラシーに関するスキルを有する。

E

環境・情報・システム工学に関する専門知識

教養科目



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

4年

(F-1)
関連する専門分野の諸問題について、その背景を踏まえながら、客観的に検討することができる。

(F-2)
様々な方法を駆使して、目標値との誤差や誤りの発生原因を特定することができる。

(F-3)
所定の期間内に問題を解決できる、あるいは解決につながる回答を用意できる。

(F-4)
与えられた課題に対して、文献やインターネットまたは人を活用して、教員が設定した品質の結果を出すことができる。

F

問題解決能力

教養科目

生物資源学総論

共生環境フィールドサイエンス
セミナー

将来気候予測論

地球環境学概論

生物圏循環学

環境保全生態学

環境情報学

農業食料工学
実習

環境情報システム工学実習I

プログラミング

環境情報システム工学実習II

設計製図学I

設計製図学演習I

環境解析基礎III

農業生産実習

農業食料工学
実験

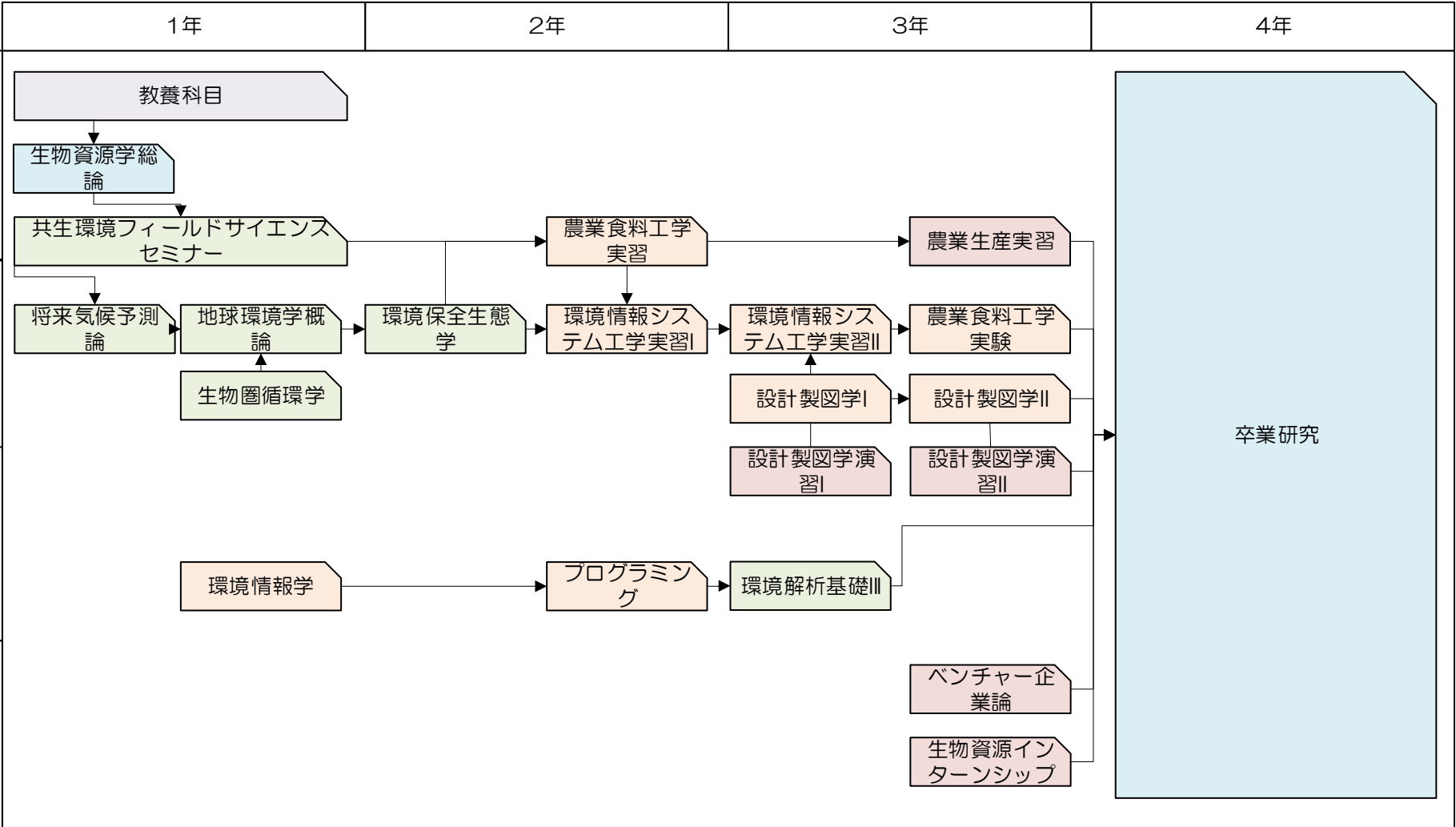
設計製図学II

設計製図学演習II

ベンチャー企業論

生物資源インターンシップ

卒業研究



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

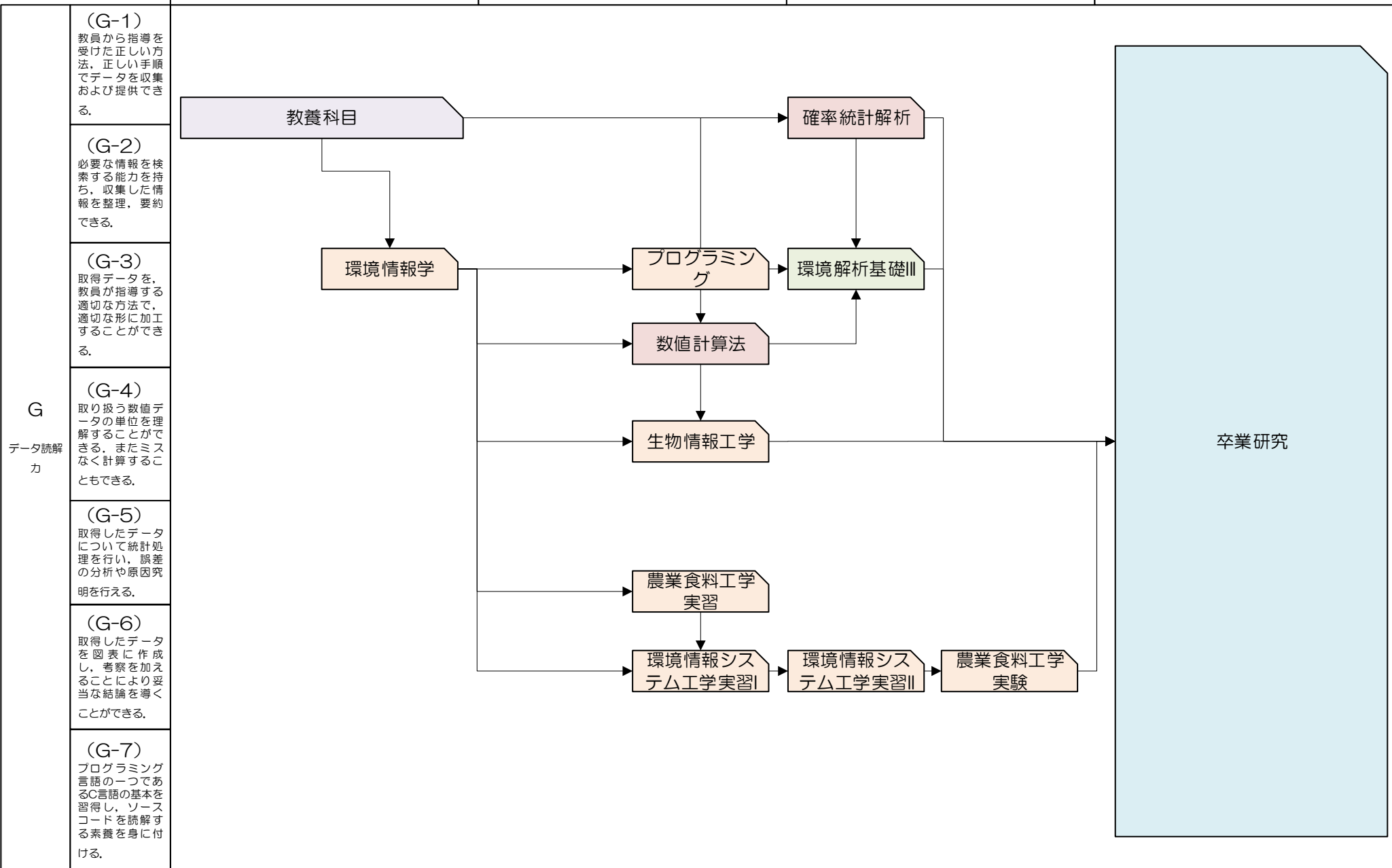
環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

4年



教養科目

学部必修

学科必修

コース必修

選択

表中の科目は全てがコアとなる授業科目

環境情報システム学
教育コース

1年

2年

3年

4年

H

実験計画

(H-1)
実験で検証すべき問題および得るべき目標を明らかにし、実験計画を立てることができる。

(H-2)
問題を解決するために立てた仮説を、実験により検証することができる。

(H-3)
実験結果の再現性を確認するための繰り返し実験の重要性が説明できる。

(H-4)
実験機器の動作原理を理解し、操作できる。

(H-5)
現象にあわせて計測機器や計測技術を適切に選択し、データを収集することができる。

農業食料工学
実習

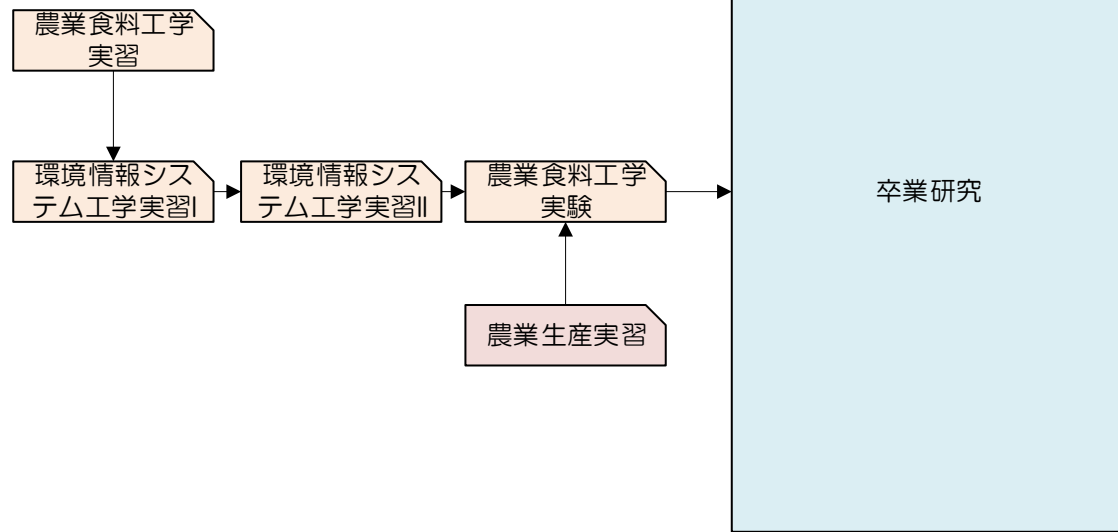
環境情報シス
テム工学実習I

環境情報シス
テム工学実習II

農業食料工学
実験

農業生産実習

卒業研究



環境情報システム学
教育コース

